

2017年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 総務委員会

- 担当専務理事名：牧田 芳明
- 委員長名：津田 康有
- 副委員長名：魚住 智哉
- 委員名：坂本 創志、橋本 航季、二見 宏史、宮沢 輝、村山 大輔
- 作成者名：津田 康有

1. 委員会活動方針

人と人の繋がりが希薄化している昨今、会員同士を始め、まち、関係諸団体との繋がりを強くすることが、まちの未来のために急務だと考えます。これには会員が各会議へ自主的な参加をし、異なる価値観を持つ会員同士が様々な観点から議論を重ね、同じ目的と方向性を共有するための規則に則った会議の運営、多くの関係者との繋がりの強化が必要不可欠だと考えます。そこで本年度総務委員会は会員一人ひとりが自覚と責任を持ち、総会、理事会に積極的に参加できる、透明性が高い組織運営とともにまちや様々な人たちとの繋がりが太くなる機会を作り出します。

当委員会は円滑に議論を重ねることの出来る鎌倉青年会議所の屋台骨として、総会および理事会をはじめとした会議の適切な運営を行います。また同時に各会議への積極的な参加を促し、当会議所内の会員としての自覚をより強いものへと発展させます。そして公益社団法人の規則に則った適切な財務運営をすることで財務の透明性維持を心がけます。本年度は新たな委員会の形態にトライすることにより円滑な総務活動を目指し会員内での信頼につなげます。次に交流会において我々会員は当会議所の歴史と伝統へ敬意を表し、OB、関係諸団体の皆さまへ我々の事業に広く参加いただき、時間を共にすることで、より強い関係を再認識出来る場と致します。最後に同じ目的の下活動する日本青年会議所本会、関東地区協議会、神奈川ブロック協議会の事業へ積極的な参加を促します。出向する会員を支援する事で、貴重な出会いと自己研鑽の場を提供し会員の新しい繋がりの機会を作り出します。

交流会や出向を経て強い繋がりを持った会員同士が議論を通し触れ合い、お互いを知ることでより強い絆と自覚が生まれます。そのような会員同士が適切な会議の中でしっかりと議論をされた活動は、会員やまちにとって有益な活動となります。さらにまちともより強い絆をつなぐこととなり、当会議所は力強い組織へ成長するものと考えます。会員一人ひとりが自覚と責任を持ち、強い組織として成長した鎌倉青年会議所が行う活動は「明るい豊かな社会」を実現する一助となると確信致します。

2. 委員会事業計画

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内容：総会並びに理事会の開催、青年会議所の運営
- (b) 時期：2017年 1月～12月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 交流会の開催

- (a) 内 容：新年式典・賀詞交歓会、メモリアルデー、次年度理事長を祝う会、
卒業生を送る会の開催
- (b) 時 期：2017年1月、3月、7月、12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、関係諸団体
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 渉外に関する事業

- (a) 内 容：公益社団法人日本青年会議所本会、関東地区協議会及び神奈川ブロック協議会
の事業への参加、出向者支援、
- (b) 時 期：2017年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大の実施
- (b) 渉外事業への参画、参加